

プレスリリース
2023年9月29日

報道関係各位

国立印刷局の工芸官による特別講義を10/6（金）開催

～ 日本銀行券と国立印刷局工芸官の技巧 ～



日本大学芸術学部
Nihon University College of Art



日本大学芸術学部（所在地：東京都練馬区/学部長：川上 央）は、2023年10月6日（金）に江古田キャンパスにて国立印刷局の工芸官による本学学生対象の特別講義を開催します（主催：芸術学部）。

本学での開催は初めてとなります。

この特別講義で学生は、国立印刷局におけるエングレーヴィングと呼ばれる銅版画の技法（お札の肖像や文様などを銅版にビュランという特殊な工具を用いて彫刻する）を中心にセキュリティ印刷における工芸官の超絶技巧を学びます。

【概要】

国立印刷局が製造する日本銀行券などの原版作製では、現在でも工芸官による手仕事の中核となっています。ビュランという金属の細密彫刻に適した専用の彫刻刀が用いられますが、このビュランを使いこなすには熟練を要し、長い年月と根気が必要とされます。この講義は、国立印刷局の工芸官がどの様に緻密な画線を彫り進めているかを知ることができます。

国民経済に不可欠なインフラストラクチャーの1つである日本銀行券の製品設計を担っている国立印刷局工芸官の高い技術と版画技法が繋がることを、身をもって体験できる今回の特別講義は、版画やデザインを勉強した学生たちの将来のキャリアについての可能性と選択肢を広げる絶好の機会となります。

また、工芸官による特別講義は、銀行券に対する国民の信頼を維持するために必要な情報として、国立印刷局が長年培ってきた工芸官の高い技術を国民の皆さんに知って頂くことを目的とした、社会貢献活動の一環でもあります。

担当教員 芸術学部 美術学科 笹井教授のコメント

日本大学芸術学部美術学科版画専攻では、感性を磨き表現を深めながら、多彩な人材を育てるための教育を行なっています。表現とは、自分に、社会に、歴史に、芸術に、新しい知覚、感性、発想を問いかけ、自らの感性を表現し、呼びかける「生」のアクションです。未来に向けてプリンティング・アートの力を再生し、新たなグラフィックアーツ表現の可能性を本学から提示することも強く意図しています。

この度、国立印刷局との協働で行われる特別講義「印刷とエングレーヴィング彫刻技法について」は彫刻、デザイン、工芸など様々な学びの領域とも重なり合う部分が多く、版画領域だけではない幅広い知識と技術を学ぶことができることが期待されます。国立印刷局工芸官による実演を間近に見ることができる大変貴重な時間を過ごすことになるでしょう。

体験した学生たちが多くを学び、感じ、この技術を未来へと繋げ広げる、そんな時間になることを期待しています。

取材のポイント

これまであまり外部に出ることのなかった国立印刷局のビュラン彫刻技術の講義について取材ができます。通常はメディアに顔を出さない工芸官*が、実際に学生へ向けてその知識や知見の一端を説明しながら解説する講義です。

*工芸官の顔の撮影には一部制限がかかります。

*展示品の取材及び撮影は禁止とさせていただきます。

*講義は、授業として行いますので、進行を中断するような取材撮影はご遠慮いただけますようお願いいたします。

【取材対応】

□取材を行う場合は事前申し込み（10月4日まで）が必要です。

□取材の申込のあった方に、集合場所等や連絡事項をお伝えします。

また、特別講義における申し込み各社に対して、事前レク（資料配布あり）を行いますので、あらかじめご承知おき願います。

□申込先：日本大学芸術学部 美術学科事務室 kajihara.tomomi@nihon-u.ac.jp

□事前レク

日時：10月6日（金）12:15-

場所：西棟2階 第二会議室

*12:15までに取材対応窓口（守衛所前）へお越しく下さい。

【開催詳細】

□日時：2023年10月6日（金）

13:00-13:15 スライドレクチャ「国立印刷局紹介及び凹版彫刻技法等について」←撮影可

13:15-13:30 彫刻の実演（工芸官によるエングレーヴィングの実演）←撮影可

13:30-16:30 彫刻の実技指導（工芸官が学生にエングレーヴィングの実技指導）←撮影可

□受講対象：本学学生

□場所：日本大学芸術学部 江古田キャンパス（東京都練馬区旭丘2-42-1）

□アクセス：

西武池袋線 「江古田駅（北口）」下車徒歩1分。

都営大江戸線 「新江古田駅（A2出口）」下車徒歩9分。

東京メトロ有楽町線・副都心線 「小竹向原駅（2番出口）」下車徒歩11分。



特別講義の様子（2023年4月実施）



〈本件に関するお問い合わせ先〉

日本大学芸術学部 美術学科事務室

(取材のお問い合わせはこちらにお願いいたします)

kajihara.tomomi@nihon-u.ac.jp

〈工芸官に関するお問い合わせ先〉

国立印刷局広報官室

Tel.03-3587-4211／E-mail : proffice@npb.go.jp